

令和2年4月6日(月)

生徒の皆さん、進級おめでとうございます。3月の初めに突然の臨時休校措置がとられ、本来は終業式を行うはずの日も、短いホームルームと教科書購入で、慌ただしく下校していただきました。いろいろな御不便をおかけして、申し訳ありませんでした。また、本来なら16名の新着任の先生方を、先ずはここで御紹介すべきところですが、割愛させていただきますので御了解ください。

私たちは今、世界的な災いの渦中にいます。そうした中、買い占めやデマ、危機感のない行動など、見えてきたのは醜い人間の本性でした。これは卒業生にお話ししたのですが、皆さんにも聞いていただきたいので、お時間をいただきます。

平易な詩を独特の書体で書いた作品で知られる、相田みつをさんを御存知でしょうか。作品の中に「わけ合えば」という、次のような詩があります。

うばい合えば足らぬ
わけ合えばあまる
うばい合えばあらそい
わけ合えばやすらぎ

うばい合えばにくしみ
わけ合えばよろこび
うばい合えば不満
わけ合えば感謝

うばい合えば戦争
わけ合えば平和
うばい合えば地獄
わけ合えば極楽

作者の相田さんが亡くなってから、すでに30年が過ぎていますが、自分本位を捨てて思いやりを貫く、この人としての高みを、危機的な状況にある今こそ、私たちは目指さなければなりません。当たり前の学校生活を奪われた悲しみを、感染拡大の防止という社会への思いやりで包み込んでいただきたい。間違っても、身勝手な振舞いで自らの尊さを失わないでいただきたい。私は、皆さんがこの体験を生涯にわたって忘れず、命の輝きを増していただくものと信じています。

新型ウィルスの感染拡大防止のため、できることを一人一人が確実にを行い、大きな力に変えていきましょう。1日も早く、平穏な日常と学校生活が戻ってくることを祈り、始業の挨拶といたします。